

# 教育に関する事務の管理 及び執行の状況の点検 及び評価結果について

朝日町教育委員会では主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、行政の透明性を高め、住民への説明責任の向上を図ることを目的とし「平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を作成しました。評価については、平成20年度事業について実施し、その結果を次のとおり公表します。

## I 評価結果

所属名	対象事業数	次年度以降に向けた改善												教育委員会で評価が変更となった事業数
		第1次評価（自己評価）						教育委員会						
		継続	拡大	縮小	見直	休止	廃止	継続	拡大	縮小	見直	休止	廃止	
教育総務	46	36			4	2	4	36			4	2	4	
幼稚園	15	15						15						
小学校	17	15			2			10			7			5
中学校	10	6	1	3				6	1	3				
生涯学習	49	45					4	45					4	
文化振興	34	29	3			2		29	3			2		
合計	171	146	4	3	6	4	8	141	4	3	11	4	8	5

## II 今後の取り組み

今後の方向性について、約82%の事務事業を「継続」と評価しました。「継続」が町の財産となるように、更なる多くの成果が得られるよう事務事業の目的、必要性等を踏まえ新たな発想による効果的な手法がないか常に問題意識を持って事務事業の遂行に努めます。

また、特に次の点について改善充実等に努めます。

- ① 特色ある事業として、中学校で実施した陶芸釜を利用した作品作りは、万古焼発祥の地である当町の生徒にとって、歴史文化を直接感じることで地元への興味を抱ききっかけ作りになったと思います。今後も特色ある事業として継続していく事が町としての財産になります。また、当町は「橘守部」「森有節」など多くの文化人を輩出しており今まで当町が蓄積してきた伝統的な文化或いは、今育っている新しい芸術家の皆さんを教育の中に取り入れるなど朝日町ならではの特色ある学校づくりに努めます。
- ② 小中学校では、児童生徒の情操教育向上のため演劇鑑賞を実施しており、『本物を見る』『本物を体験する』事は、心を育む学習に教育効果は大きいと思います。児童生徒の豊かな感受性を育てるためにも『本物を見る』『本物を体験する』事は一生の宝物にもなります。今後も心の琴線に触れるような本物体験ができるよう更なる充実努めます。
- ③ スポーツや芸術などにおいて、秀でている児童生徒に対し更なる能力向上、後輩たちの目標となる人物育成のため、遠征費などに対する助成の充実努めます。
- ④ 将来の朝日町を担う子どもたちが、健康で豊かな心を育むためには、「食育」がより大切であります。生産者の努力や食への感謝の念を育てるなど、児童生徒にとって食の重要性を理解する重要な活動であるため今後も継続して進めるよう努めます。

※「平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」は、教育委員会教育課・教育文化施設・朝日町公民館にて閲覧できます。

【問い合わせ先】教育委員会 教育課 377-5651